

はじめの一步！ サンプル・プログラムを動かす

桑野 雅彦

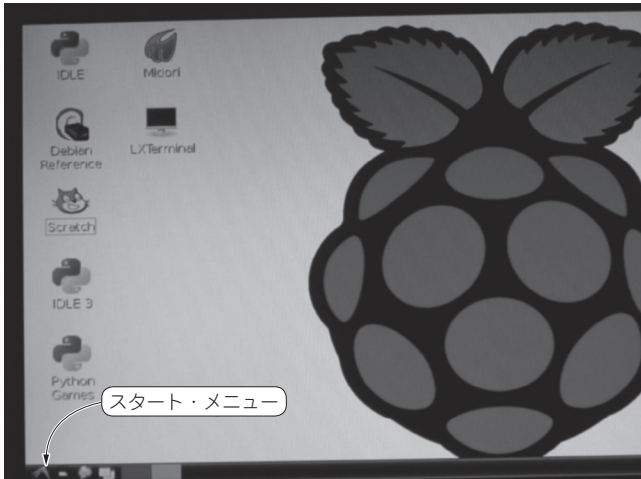


写真1 Raspberry PiのGUI画面X Window Systemを立ち上げたようす

第2章でインストールしたRaspbianは、基本的にLinuxそのものです。Linuxはシェル(コマンド・ライン)の機能も多く、UNIXが普及していった時代から使われてきたアプリケーション類も非常にたくさんあり、とてもすべては説明しきれません。

Linuxのできることの詳細は書籍などを参照していただくことにして、ここではネットワーク接続やUSBメモリ/I/Oのサンプル・プログラムを例にARMコンピュータRaspberry Piの扱いかたのポイントを説明していきます。具体的には、GUI画面で動かす方法や、サンプル・プログラムを使った画像表示・音声出力、ネットワークへの接続、USBメモリの接続を順に試していきます。

Raspberry Pi用Linuxの操作方法

● Windows風のGUI画面でも動かせる

第2章の初期設定を終えて再度起動したら、piユーザでログインし、USBポートにマウスをつないでX Window

Systemが動くか確認してみましょう。

```
startx
```

とすると、Raspberry Piのシンボルであるラズベリーの絵が画面一杯に表示されたあと、写真1のような、Windowsとはちょっと違うGUI画面になります。

第2章でのraspi-config画面で設定していれば、[Ctrl] + [Alt] + [Backspace] ([Del]ではないので注意する)で終了してシェルに戻れます。

左下のアイコンがWindowsでいうスタート・メニューで、右側に順にファイル・マネージャ、ウェブ・ブラウザ、アプリケーションの最小化、仮想画面の切り替え(2画面ある)の各アイコンが並んでいます。

なお、raspi-config画面で設定しなかったときでも、画面左下隅のアイコン(Windowsならスタート・メニューのある位置)をクリック、またはキーボードで[Ctrl]と[Esc]キーを同時押下して表示されるメニューからLogoutを選択すればログアウトできます。

● デスクトップ上に用意されているアプリケーションを動かしてみる

デスクトップ上にいくつかアイコンが並んでいます。左ダブルクリックで実行できます。右クリックのポップアップ・メニューで表示されるメニューでは「Open」が実行です。「Leafpad」は、テキスト・エディタのLeafpadで開くというものです。

デスクトップ上にあるアプリケーション・ソフトウェアは次のとおりです。

▶ Midori

ウェブ・ブラウザです。日本語フォントなどをインストールしていないので、日本語表示はできませんが、英語サイトを開けば、きれいに表示されます。

▶ LX Terminal

X Window System上で利用するシェルです。Windows